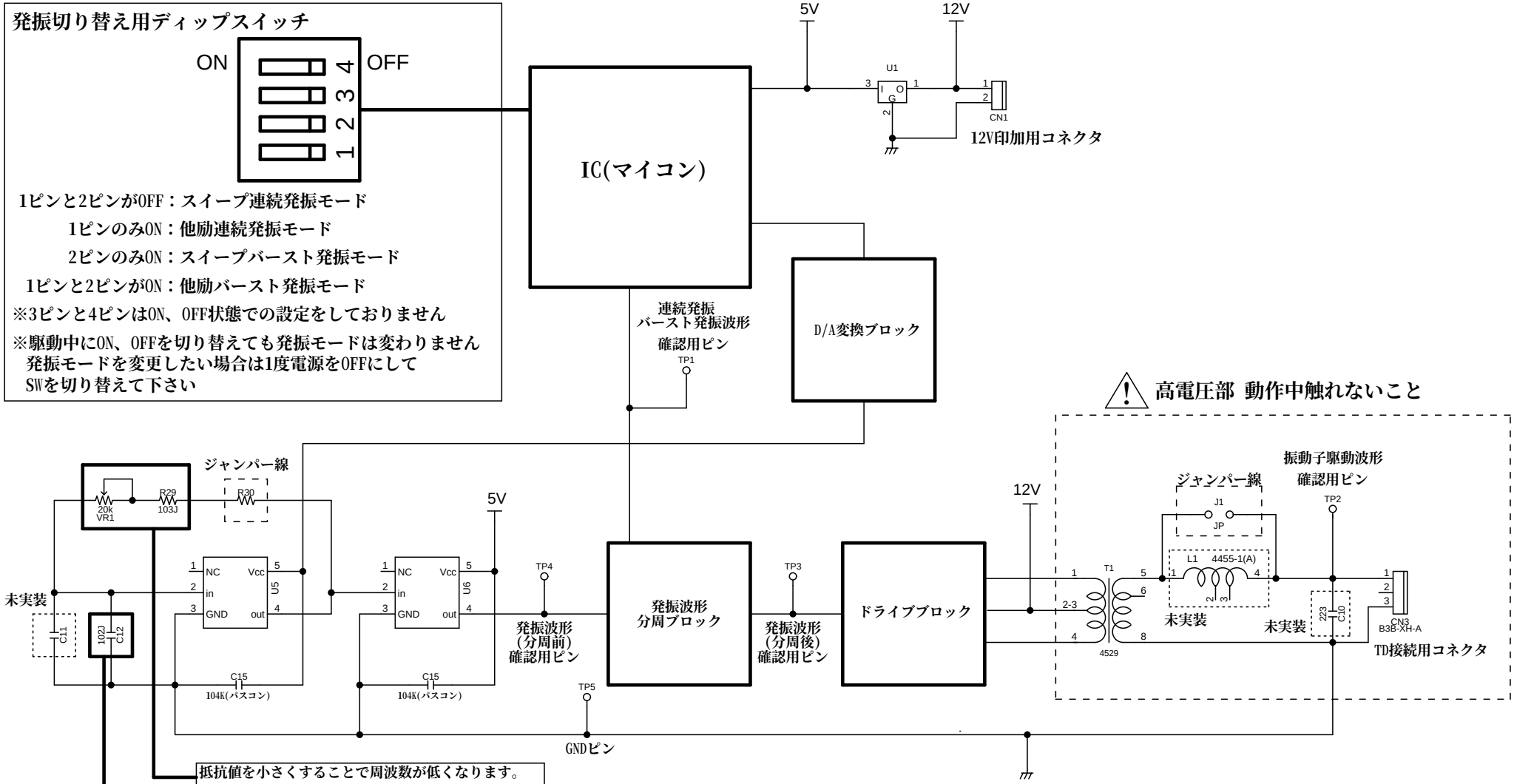

本キットの発振する周波数は分周後の値になります。
本キットの抵抗R29、VR1とコンデンサC12の値を変更することで周波数の値を変更することができます。
また、R30のジャンパー線を取り外して抵抗を実装する、C11へコンデンサを実装することでも
周波数を変更、調整が可能です。

L1へチョークコイル、C10へコンデンサを追加しLC共振にすることでより効率の良い発振が可能です。
L1実装時はJ1のジャンパー線は取り外してください。

オシロスコープで波形の確認を行う際はTP1、TP2、TP3、TP4はプラス側と接続し、マイナス側はTP5と接続して下さい。

モノリストシリーズ1
振動子駆動キット MLS-01 簡易ブロック図